

平成 31 年 3 月 12 日

北綾瀬のまちづくり

～統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬～

資料編

目次

1	統計データでみる北綾瀬	
(1)	人口動態	1
(2)	ボトルネック的課題	4
(3)	地域の魅力	4
2	アンケート調査でみる北綾瀬	
(1)	アンケート概要	5
(2)	集計結果	5
(3)	クロス集計結果	6
ア	地域別による分析	6
イ	年齢別による分析	7
ウ	所得別による分析	7
エ	居住年数による分析	8
オ	住まいの形態による分析	8
3	統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬	9

1 統計データでみる北綾瀬

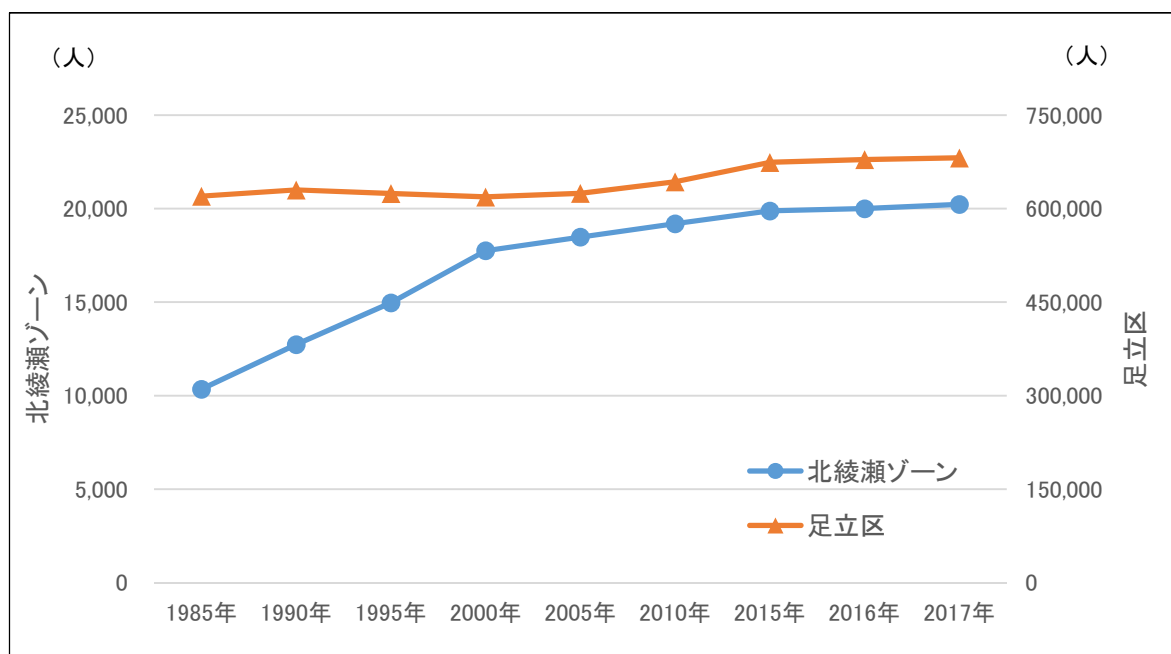
(1) 人口動態

北綾瀬ゾーンと足立区全体についての人口推移と区分別年齢人口割合の推移を図のとおり示します。

概要

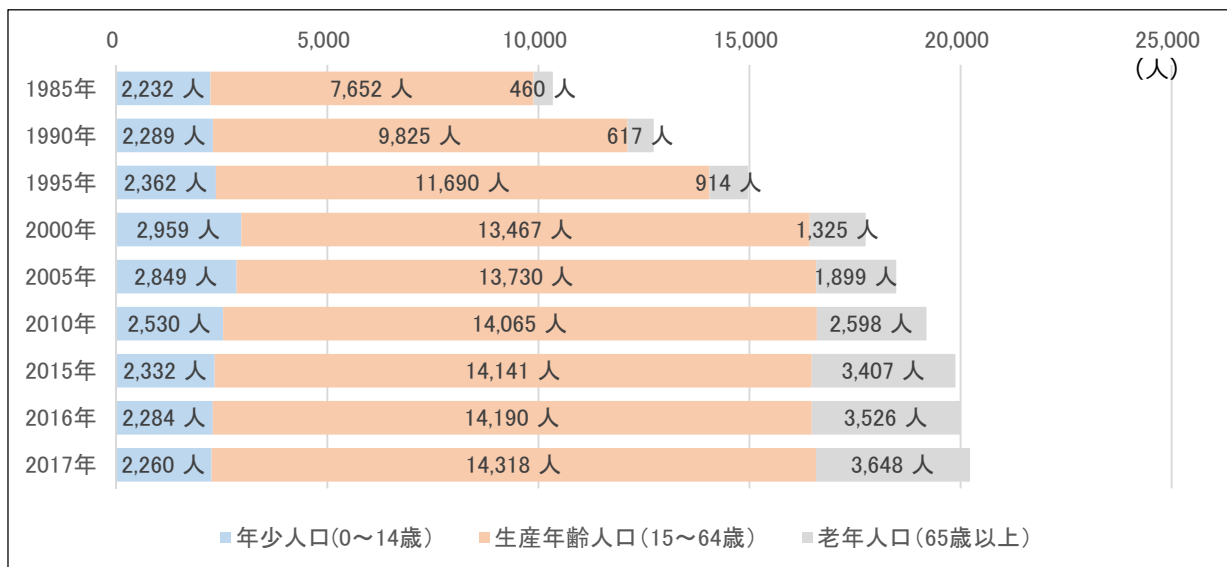
- ・区全体と足並みをそろえるように北綾瀬の総人口も増加傾向を続けており、北綾瀬の総人口は1985年から2017年にかけて、およそ2倍に増加しています。

グラフ1 北綾瀬ゾーン・足立区全体の総人口推移

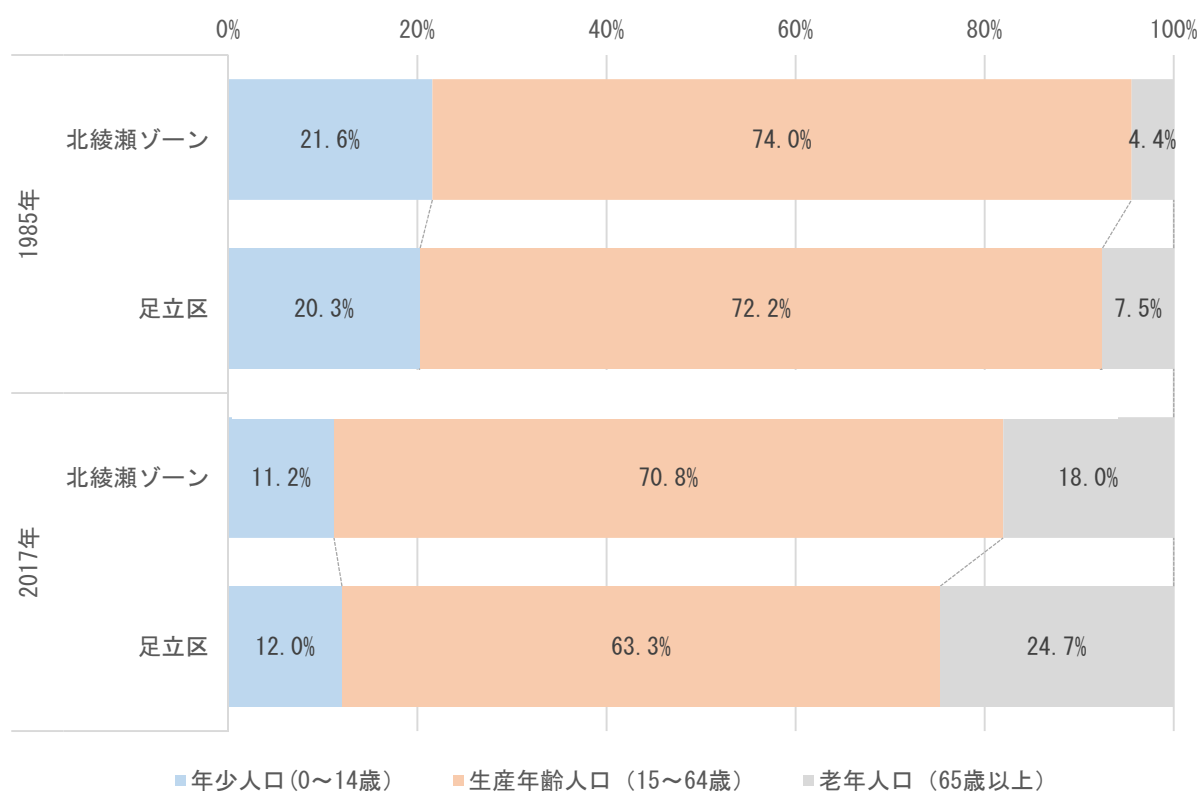


1 統計データでみる北綾瀬

グラフ2 北綾瀬ゾーンの年齢3区分別人口の推移



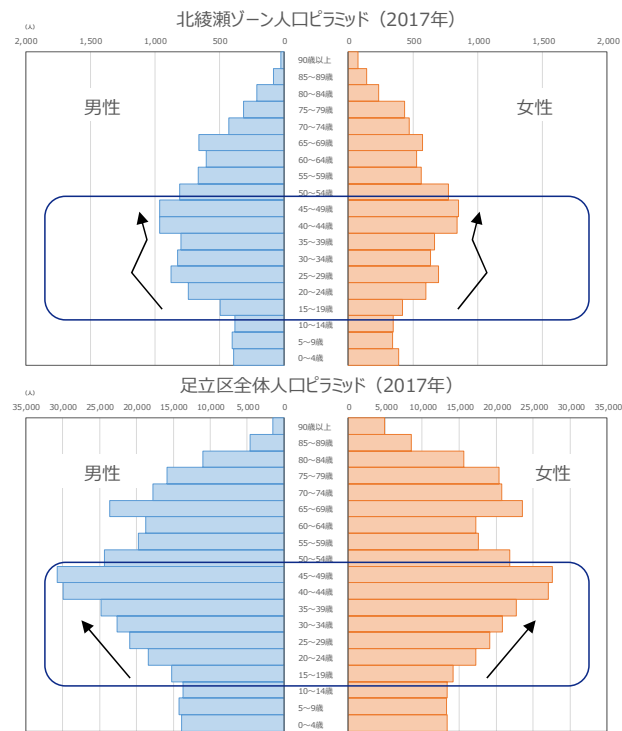
グラフ3 北綾瀬ゾーンと足立区の年齢3区分の人口割合の推移(1985年、2017年)



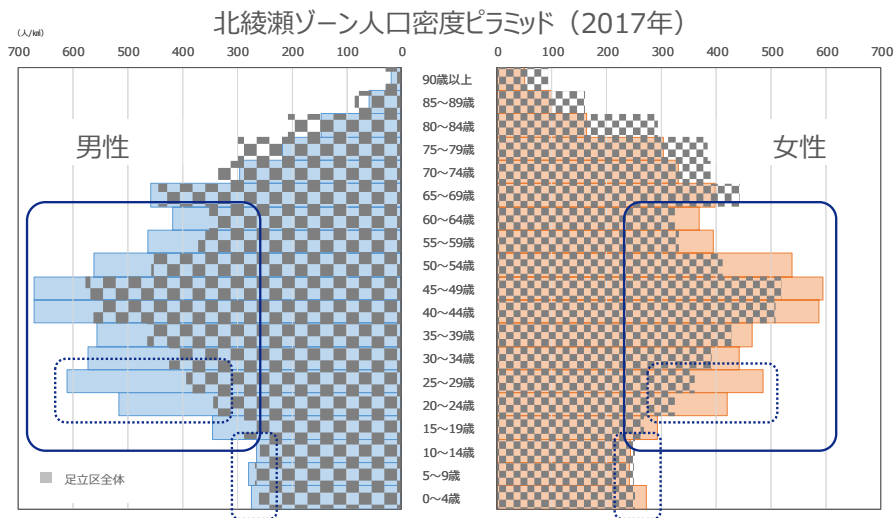
概要

- ・人口ピラミッドをみると、区全体ではピークの40代に向かって広がっていくのに対し、北綾瀬では40代がピークであることは共通するものの、20代後半から一度減少しています。
- ・人口密度ピラミッドから、生産年齢人口のうち20代の密度が高いことが示されます。

グラフ4 北綾瀬ゾーンの人口ピラミッド（2017年）



グラフ5 北綾瀬ゾーン人口密度ピラミッド（2017年）



1 統計データでみる北綾瀬

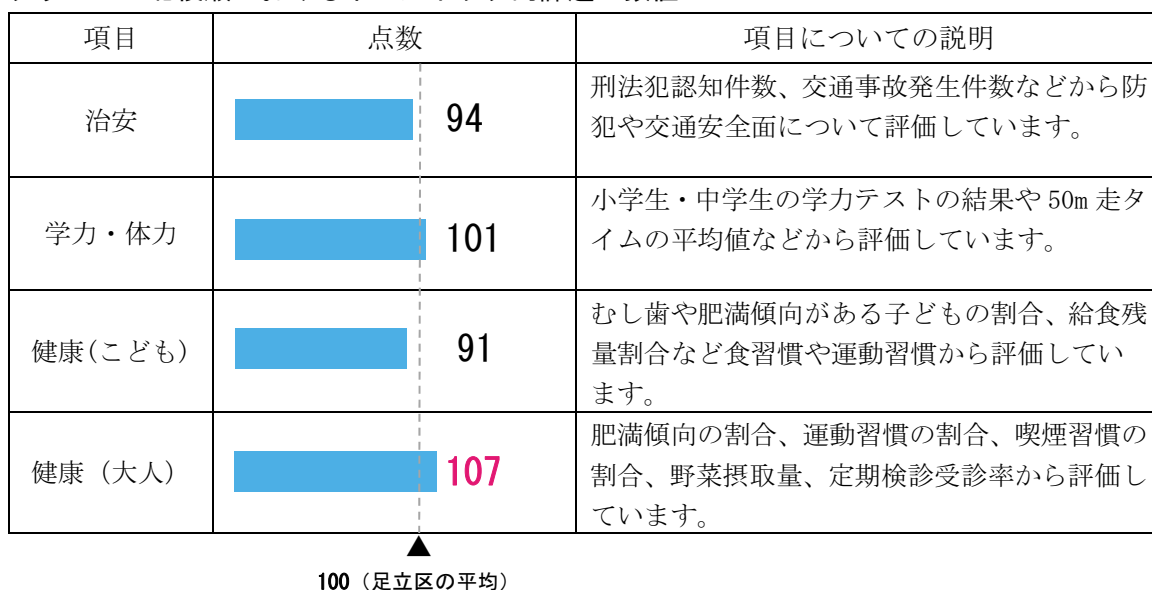
(2) ボトルネック的課題

「治安」「学力」「健康」の各項目について、足立区の平均を100とし、北綾瀬ゾーンの数値を算出しました。

概要

- ・区平均と比べて北綾瀬ゾーンは企業からは魅力があり、地域のつながりが強いと言えます。また、交通や買い物の「利便性」、まちの景観、公園や緑の多さなどで評価する「住みごっこち」、「健康（子ども）」の項目では、改善が必要な地域となっています。

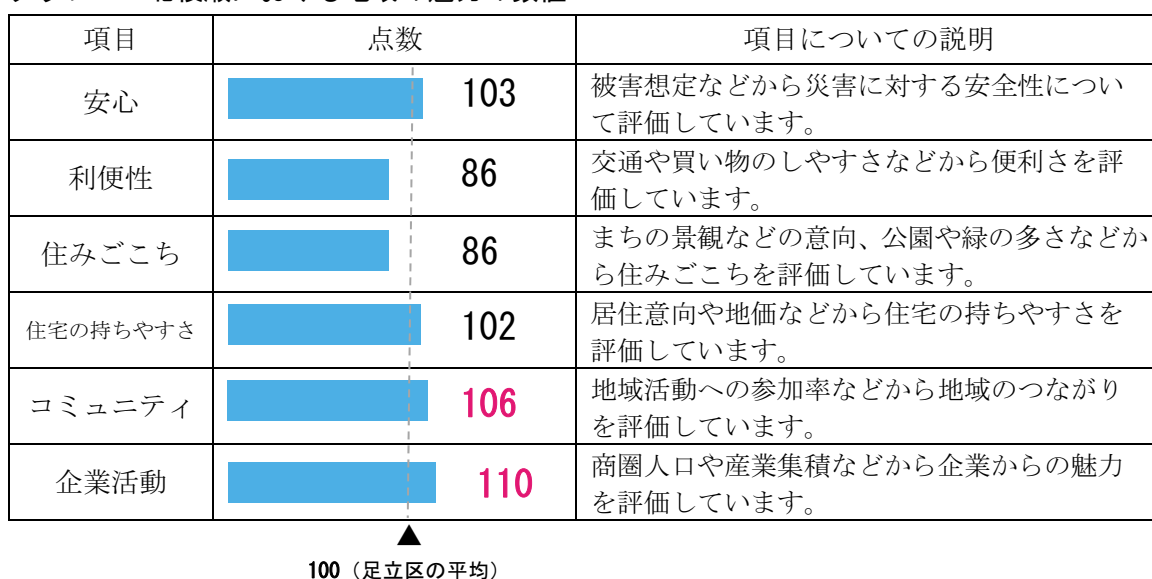
グラフ6 北綾瀬におけるボトルネック的課題の数値



(3) 地域の魅力

「安心」「利便性」「住みごっこち」「住宅の持ちやすさ」「コミュニティ」「企業活動」の各項目について、足立区の平均を100とし、北綾瀬ゾーンの数値を算出しました。

グラフ7 北綾瀬における地域の魅力の数値



2 アンケート調査でみる北綾瀬

(1) アンケート概要

北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画策定のために必要なアンケートである旨を説明し、回答いただきました。まちの評価項目ごとに、最高5点から1点の5段階で評価してもらいました。

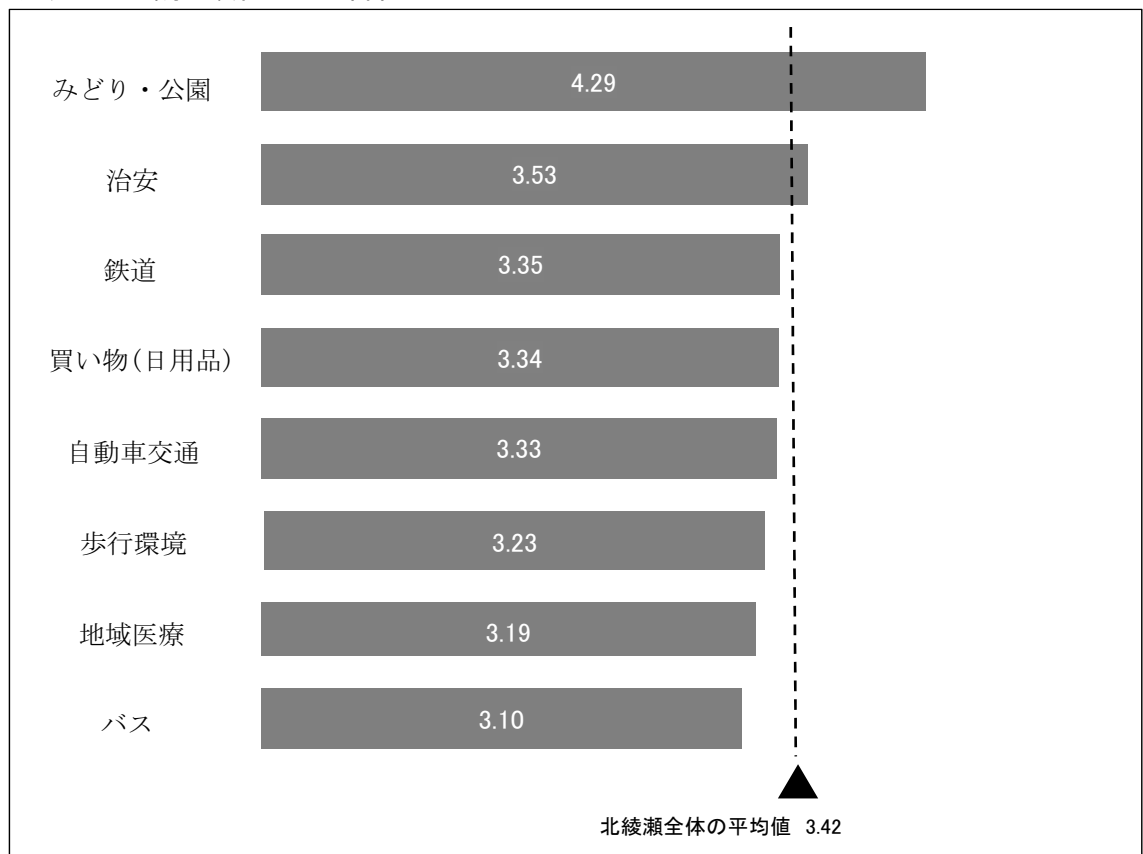
調査形式・会場	実施日	アンケート数	
北綾瀬（しょうぶ沼公園）	平成30年6月2日（土） 10:00～16:00	515	1574
	平成30年6月3日（日） 10:00～16:00	497	
綾瀬（都立東綾瀬公園ハト広場）	平成30年6月2日（土） 10:00～16:00	368	
	平成30年6月3日（日） 10:00～16:00	143	
住民説明会（東加平小学校）	平成30年8月30日（木） 19:00～20:30	51	

(2) 集計結果

概要

・「みどり・公園」「治安」に対する評価が高い一方、「バス」「地域医療」の評価は低くなっています。

グラフ8 調査項目ごとの評価



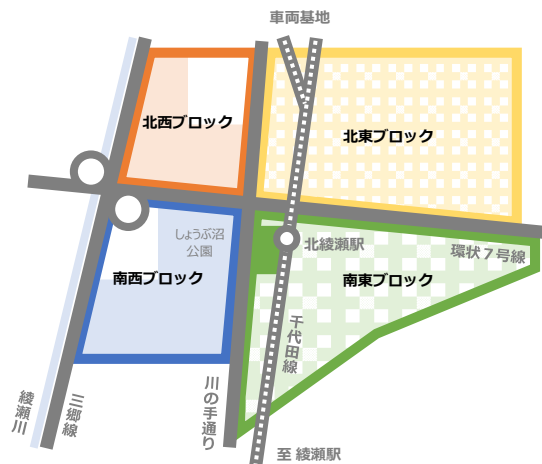
2 アンケート調査でみる北綾瀬

(3) クロス集計結果

ア 地域別による分析

概要

- ・全体としてのブロック別の満足度の差は小さくなっていますが、「みどり・公園」については南東・南西ブロックで相対的に高くなっています。また、「鉄道」や「買い物」に関しては北東・北西ブロックがやや上回ります。



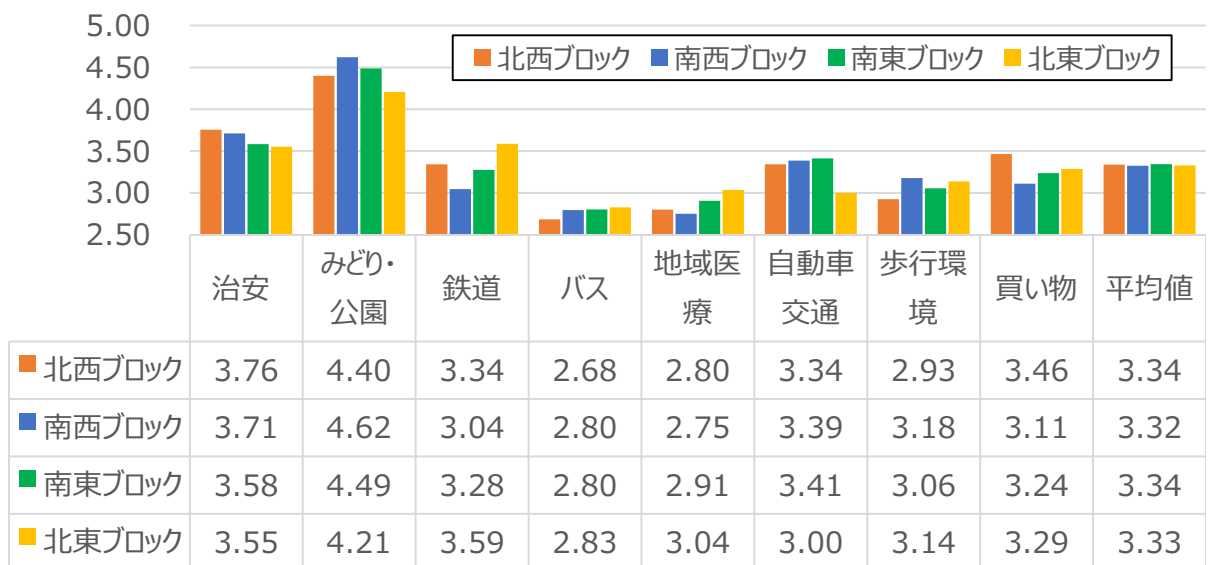
北西ブロック：加平二丁目、加平三丁目

南西ブロック：加平一丁目

南東ブロック：東和五丁目、谷中一丁目、谷中二丁目

北東ブロック：大谷田四丁目、谷中三丁目、谷中四丁目

グラフ9 地域別による各調査項目の評価

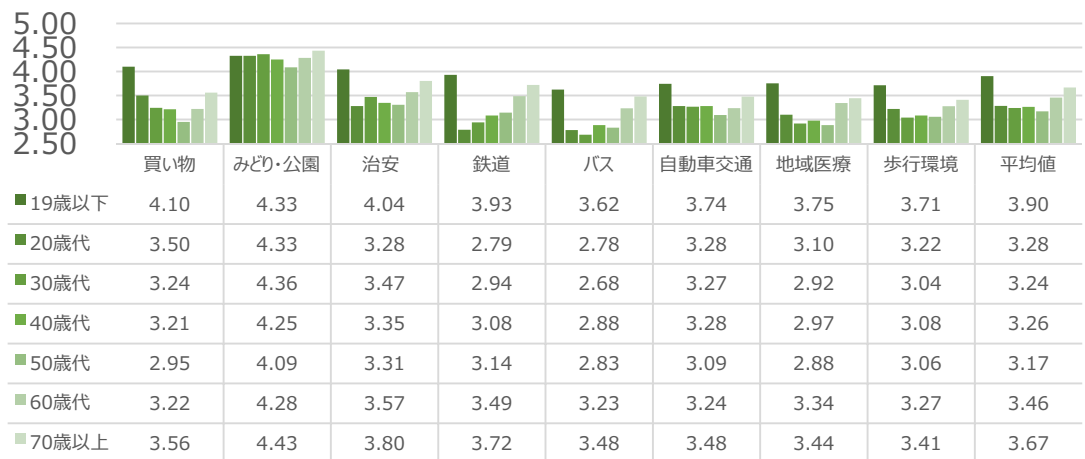


イ 年齢別による分析

概要

- ・全体的には若年層や高齢者の満足度が高い一方、30～50 歳代の評価が低くなっています。
- ・自動車交通面では年齢による満足度の差は比較的小さくなっている一方で、「鉄道」や「バス」といった公共交通については、20～30 歳代を底に若い年代ほど満足度が低下する傾向がみられます。
- ・みどりや治安面は相対的に高い評価となっており、地域の強みといえる一方で、「買い物」や「地域医療」は年代によって満足度に差があることが課題といえます。

グラフ 10 年齢別による各調査項目の評価

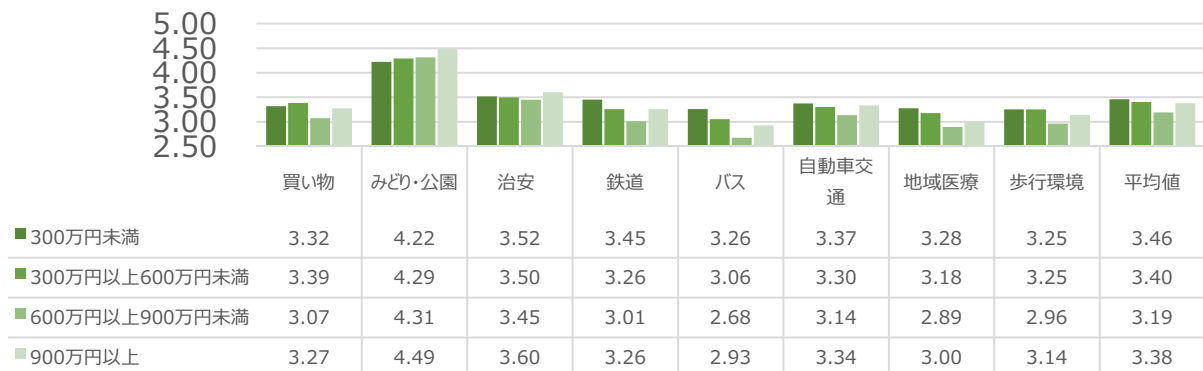


ウ 所得別による分析

概要

- ・「みどり・公園」の評価は世帯収入が高いほど高く、「鉄道」「バス」「地域医療」「歩行環境」の評価は、世帯収入が高いほど低くなる傾向があります。
- ・300 万円未満の世帯の方は、相対的に各項目についての満足度が高くなっています。

グラフ 11 所得別による各調査項目の評価



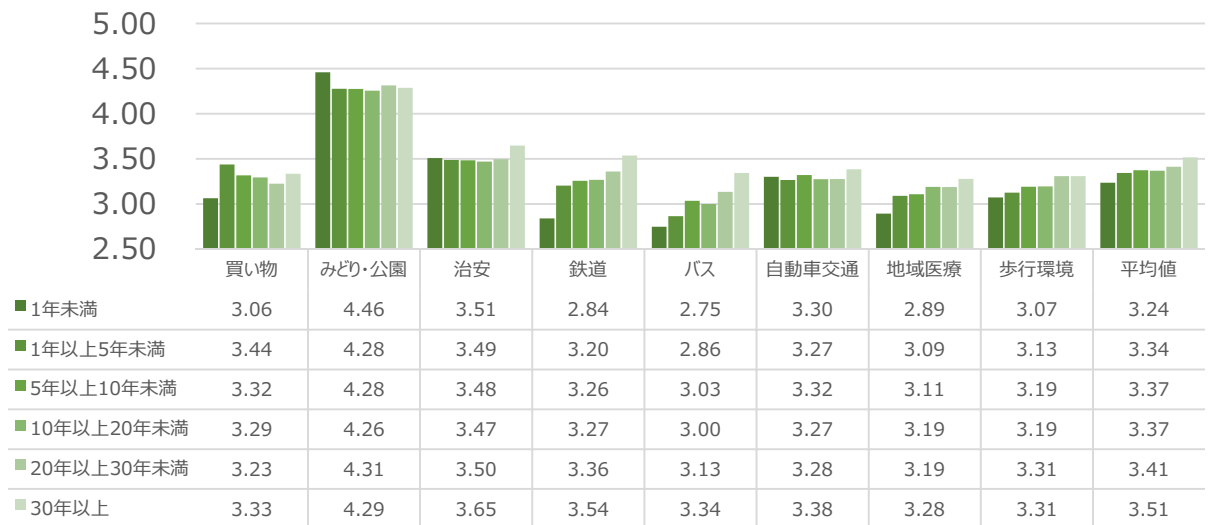
2 アンケート調査でみる北綾瀬

エ 居住年数による分析

概要

- ・ 長年住んでいる人の満足度が高く、最近住み始めた人は「みどり・公園」以外は低くなっています。
- ・ 住み始めて1年未満の人は、「買い物」「鉄道」「バス」「地域医療」の評価が低くなる傾向があります。

グラフ 12 居住年数別による各調査項目の評価

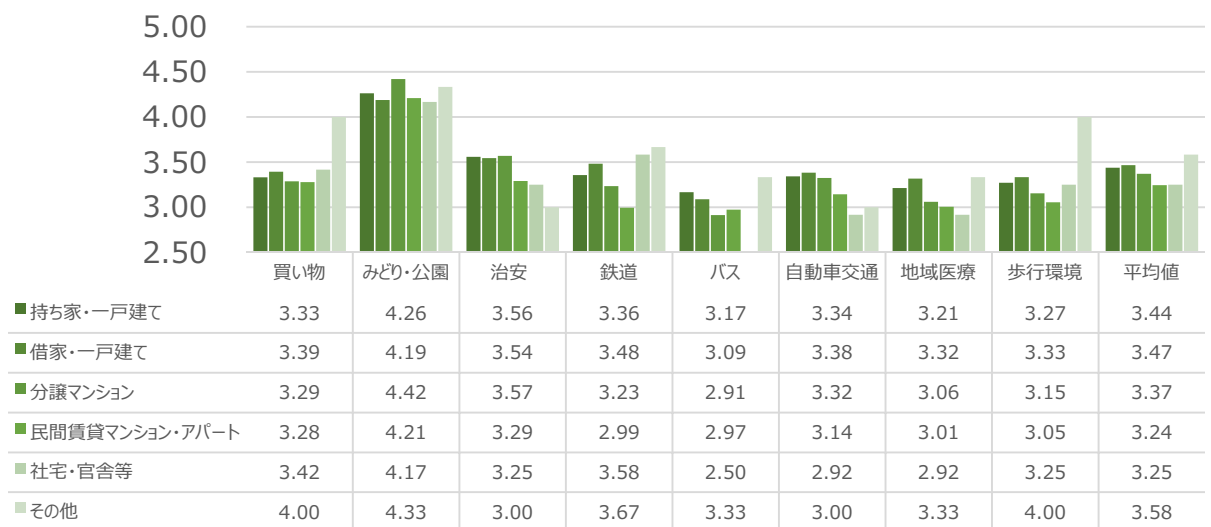


オ 住まいの形態による分析

概要

- ・ 住まいの形態別による大きな傾向の違いは見られず「持ち家・一戸建て」「借家・一戸建て」「分譲マンション」の評価の差は小さい。

グラフ 13 住まいの形態別による各調査項目の評価



3 統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬

概要

- ・ 北綾瀬ゾーンにおける「みどり・公園」は統計データ・アンケートともに高評価となっており、積極的に活用すべき「強み」といえます。
- ・ 一方、アンケートの評価が低い「バス」「地域医療」や、統計データの評価が低い「治安」「鉄道」は、それぞれ改善すべき課題となっています。

表の見方

凡例					
	便利(快適)	やや便利(快適)	普通	やや不便(不快)	不便(不快)
アンケート	上位2位	中間より高い	中間	中間より低い	下位2位
統計データ	10%≦値	5%≦値<10%	-5%≦値<5%	-10%≦値<-5%	-10%>値

足立区平均値を「0」としたときの比較結果。なお、比較結果の単位は「%」として示している。
例：北綾瀬ゾーンの公園面積の割合は、足立区平均より37%高いことを表している。

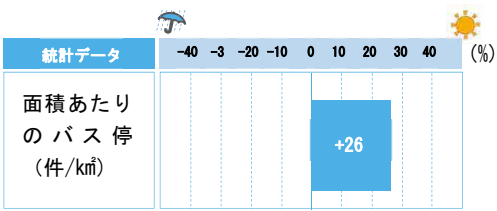
項目	アンケート			
みどり・公園	評価傾向	・ 総じて高評価となっている。 ・ 北東ブロックの評価が相対的には低い。	<	

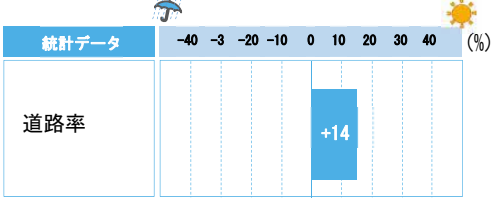
3 統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬

項目		アンケート		統計データ	
買い物（日用品）	評価傾向	- 若年層や高齢者の満足度が高い。 - 北西ブロックの評価が高く、南西ブロックは低い。		統計データ </	

項目		アンケート		統計データ	
みどり・公園	評価傾向	- 総じて高評価となっている。 - 北東ブロックの評価が相対的には低い。		統計データ 総面積あたりの公園・児童遊園の面積の割合	

3 統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬

項目	アンケート		統計データ	
バス	評価傾向	20～50 代の評価が低い。 - 顕著な地域差はみられないが、北西ブロックの評価が低い。		
	自由意見	- いろいろなバスが通っている。 - バスの路線が増えると良い。 - バスが便利。		
	評価	3.10 点	+26.0%	
		不便 	便利 	
	備考	面積あたりのバス停数は区平均を上回るものの、住民の満足度向上にはつながっていない。		

項目	アンケート		統計データ	
道路環境 (自動車交通・歩行環境)	評価傾向	10 代の評価は突出して良いが、それ以外は世代間の差は小さい。 - 自動車交通は北東ブロックの評価が低く、歩行環境は北西ブロックの評価が低い。		
	自由意見	- 環七や川の手通りで地域が分断され、まとまりがない（自動車交通）。 - 高速インターが近い（自動車交通）。 - 大きい道路が近いので色々な所に行きやすい（自動車交通）。 - 環七の歩道は広めで歩きやすい（歩行環境）。 - 遊歩道が歩きやすい（歩行環境）。		
	評価	自動車交通 3.33 点 歩行環境 3.23 点	+14.0%	
		普通 	便利 	
	備考	- 自動車交通の満足度は相対的には充実している。 - 歩行環境は満足度自体は高くはないが、住民から歩きやすいなどの意見が挙げられている。		

3 統計データとアンケート調査の比較でみる北綾瀬

項目	アンケート		統計データ	
地域医療	評価傾向	- 総じて評価は低い傾向にある。 - 西部よりも東部の評価の方が相対的には高い。	統計データ比較グラフ。横軸は-40から40（%）。住民一人当たり病床数は-26、住民一人当たり診療所数は+0。	
	自由意見	- のどかで子ども向けの病院もあるので良いと思う。 - 近くに小児科が少ないので欲しい。		
	評価	3.19 点	-13.0%	
		不便	不便	
	備考	地域医療はアンケート、統計データともに改善が必要な水準にある。		

北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画 資料編

平成 31 年 3 月

足立区エリアデザイン推進本部

事務局：足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室

エリアデザイン計画担当課

東京都足立区中央本町 1－17－1

電話 03—3880—5812

F A X 03—3880—5610

U R L <http://www.city.adachi.tokyo.jp/>